記者発表資料

平成２７年 ２月 ３日
高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

高校生が製作した「橋梁模型」の審査会を開催！

～平成27年2月12日（木） せんだいメディアテークにて～

今回で１３回目となる高校生「橋梁模型」作品発表会の審査会を開催します。

今回は、**東北６県の高等学校２０校から３７作品**の応募がありました。この中から、**一次審査を通過した１０作品**について、一般来場者の方に投票していただき、最終審査を行い、**各賞の発表と表彰式を行います**。

また、同時開催として、橋に関するテーマの特別講演、及び復興道路を支える１０の建設技術パネル展を行います。

●日　時：平成２７年２月１２日（木）１１：００～１６：３０
●会　場：せんだいメディアテーク１階オープンスクエア
（宮城県仙台市青葉区春日町２－１）

【高校生「橋梁模型」作品発表会審査会】
〇公　開　審　査：　１１：００～１４：１５
※ **来場者の方に投票していただきます（入場料無料・参加自由）**。
〇開　　会　　式：　１３：００～
〇製作者プレゼンテーション：１３：１５～
〇各賞発表・表彰：　１５：４５～

【橋梁技術講演会】
〇特　別　講　演：　１４：３０～１５：３０
・演　題：『橋づくりの仕事』
・講　師：（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会
技術次長 山口 光俊 氏

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】
高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所内）
東北技術事務所 副所長　狩野（かりの） 武志（たけし）
東北技術事務所 施工調査･技術活用課長　下田（しもだ） 一朗（いちろう）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１　電話０２２－３６５－８０４７
ホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/h26/index.html

高校生「橋梁模型」作品発表会
及び橋梁技術講演会について

○ 目　　的

土木技術を学び将来の社会資本づくりを担う高校生に、模型づくりを通じて橋の種類や構造に関する知識を深めてもらうとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的に実施するものです。

平成１４年から実施しており、今回で１３回目となります。

○ 概　　要

【募集状況】

今年度は、東北６県の土木系高等学校２０校から３７作品の応募がありました。

作品の募集期間：平成２６年７月４日（金）～平成２６年９月２６日（金）

作品の提出期限：平成２７年１月１４日（水）

【一次審査】

平成２７年１月２３日（金）に東北技術事務所で開催。

７名の審査員により「構造物としての安定した外観」「出来映え」「アイディア・デザイン」を審査し、獲得点が上位の１０作品（チラシの裏面参照）を選定しました。

【二次審査】

平成２７年２月１２日（木）に開催予定。

一次審査で選定された１０作品の一般公開と一般来場者の方に投票をしていただきます。また、この１０作品の製作者によるプレゼンテーションを行います。一般の方の投票により得られた獲得点とプレゼンテーションの審査員による審査で得られた獲得点は、一次審査得点に加算されます。

【最終審査】

一次審査と二次審査での獲得点に基づき、審査員による最終審査で各賞を決定します。

【各賞発表・表彰】

最 優 秀 賞：１作品
優　秀　賞：２作品
審査員特別賞：１～２作品
努　力　賞：５～６作品
　　→ 入賞１０作品（一次審査を通過した１０作品）

プレゼンテーション賞：１校

○ 橋梁技術講演会とパネル展示

二次審査と同時開催で、橋梁技術講演会とパネル展示を行います。

【橋梁技術講演会】　１４：３０～１５：３０

演題：『橋づくりの仕事』

講師：（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 技術次長　山口光俊氏

【パネル展示】

復興道路を支える１０の建設技術パネル展、東日本大震災パネル展　　等

○ 平成２６年度の作品応募校一覧

所在県	学　校　名	作品数
青森県	八戸工業高等学校	１作品
	弘前工業高等学校	２作品
４作品	青森工業高等学校	１作品
岩手県	花巻農業高等学校	１作品
３作品	一関工業高等学校	２作品
宮城県	仙台工業高等学校	２作品
	古川工業高等学校	１作品
	小牛田農林高等学校	１作品
	迫桜高等学校	２作品
８作品	黒川高等学校	２作品

所在県	学　校　名	作品数
秋田県	能代工業高等学校	１作品
	大館工業高等学校	２作品
８作品	秋田工業高等学校	５作品
山形県	山形電波工業高等学校	２作品
	山形工業高等学校	１作品
	長井工業高等学校	２作品
	米沢工業高等学校	２作品
８作品	寒河江工業高等学校	１作品
福島県	二本松工業高等学校	３作品
６作品	相馬農業高等学校	３作品
計	２０校　３７作品	

※順番は、所在県行政順、申込み順

○ 審査員（敬称略）

審査員名	所　属　・　役　職
樋渡　滋 （審査員長）	東北学院大学工学部　名誉教授
星簇　健二	(一社)日本橋梁建設協会　業務部長
森島　修	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部　副支部長
信夫　弘司	(一社)東北地域づくり協会　企画管理部長
小野寺　四郎	(一財)橋梁調査会　東北支部長
三田　昌彦	(一社)建設コンサルタンツ協会　東北支部　技術部会長
加藤　信行	東北地方整備局　東北技術事務所長

○ 主　　催

高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

（委員長：一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部長　益子 博志）

【構成団体名】

一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事業所

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部

一般社団法人東北地域づくり協会

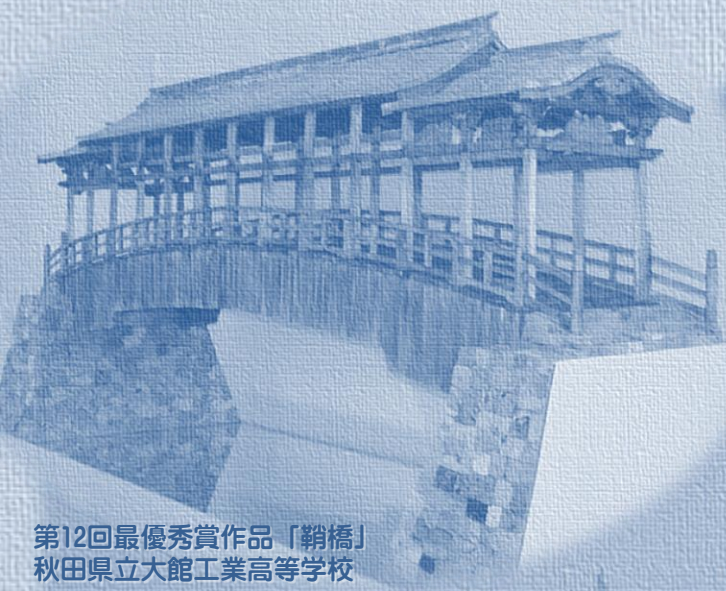
一般財団法人橋梁調査会 東北支部

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 東北支部

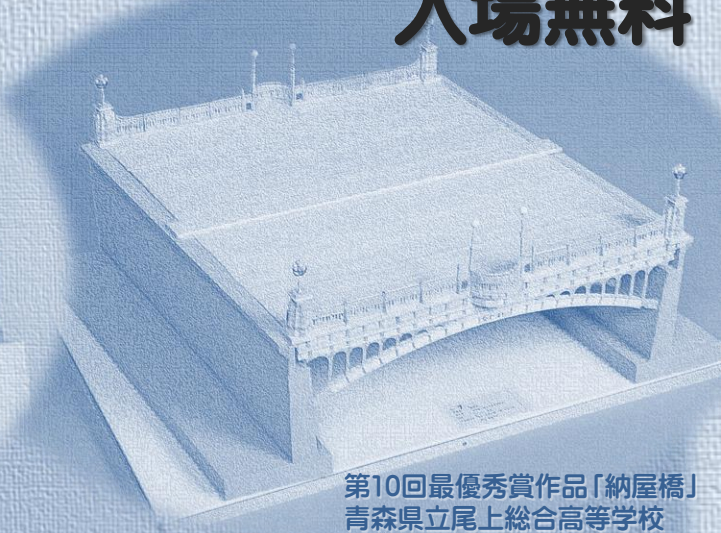
東北地方整備局 東北技術事務所

第13回 高校生「橋梁模型」作品発表会 審査会 及び 橋梁技術講演会

入場無料



第12回最優秀賞作品「鞘橋」
秋田県立大館工業高等学校



第10回最優秀賞作品「納屋橋」
青森県立尾上総合高等学校



第11回最優秀賞作品「タワーブリッジ」
青森県立尾上総合高等学校

11:00-14:15　来場者による審査（どなたでも審査に参加できます）
14:30-15:30　橋梁技術講演会（どなたでも聴講できます）
『 橋づくりの仕事 』（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 技術次長 山口光俊氏

開催日時
2015年2月12日（木）
11:00～16:30

会場
せんだいメディアテーク
１Ｆ オープンスクエア
（仙台市青葉区春日町2-1）

プログラム （11:00開場）

11:00～14:15 来場者による公開審査
13:00～ 開会あいさつ、審査要領説明
13:15～ 製作者によるプレゼンテーション
14:30～ 橋梁に関する技術講演
15:45～ 各賞発表及び表彰式
16:15～16:30 講評（審査員長）、閉会

主催　高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

構成団体
（一社）日本橋梁建設協会 東北事務所、（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部、（一社）東北地域づくり協会、（一財）橋梁調査会 東北支部、（一社）建設コンサルタンツ協会 東北支部、東北地方整備局 東北技術事務所

高校生「橋梁模型」作品発表会 とは

高校生「橋梁模型」作品発表会とは、模型づくりを通じて橋の種類や構造に関する知識を深めてもらうとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的として実施しており、今回で１３回目を迎えました。

今回は、東北６県の２０校から３７作品の応募があり、事前に一次審査(1月23日)により選考された作品を、せんだいメディアテークにて公開し、一般来場者の審査と審査員のプレゼンテーション審査で、各賞を決定します。

・応募資格　東北６県の高校・高専で土木を学ぶ生徒（個人・グループを問わず）
・作品課題　橋梁の種類・形式は自由 ①国内外を問わず、実在する橋・過去に存在した橋の模型
②実際にはない形式・構造の橋、夢のある橋

最終審査対象作品の紹介



作品名　木曽の大橋
学校名　青森県立青森工業高等学校



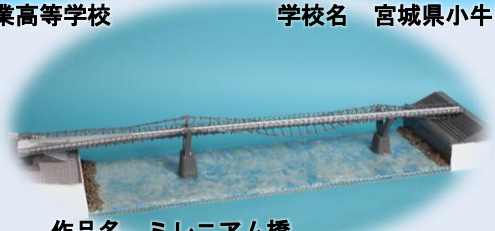
作品名　ベルニナ鉄道「オープンループ橋」
学校名　宮城県古川工業高等学校



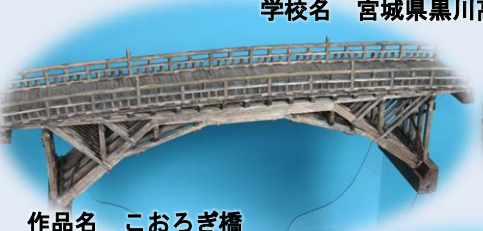
作品名　無際橋
学校名　宮城県小牛田農林高等学校



作品名　タワーブリッジ
学校名　宮城県黒川高等学校



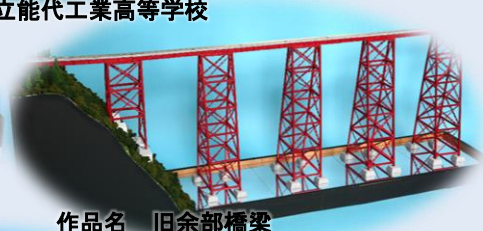
作品名　ミレニアム橋
学校名　秋田県立能代工業高等学校



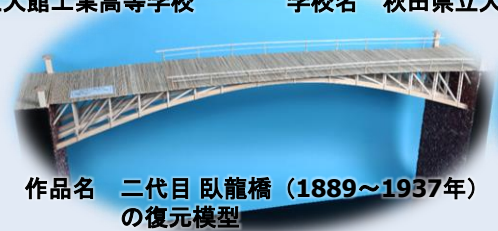
作品名　こおろぎ橋
学校名　秋田県立大館工業高等学校



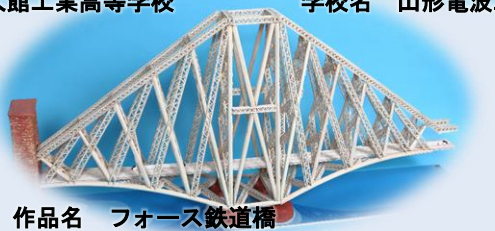
作品名　西田橋
学校名　秋田県立大館工業高等学校



作品名　旧余部橋梁
学校名　山形電波工業高等学校



作品名　二代目 臥龍橋（1889～1937年）の復元模型
学校名　山形県立山形工業高等学校



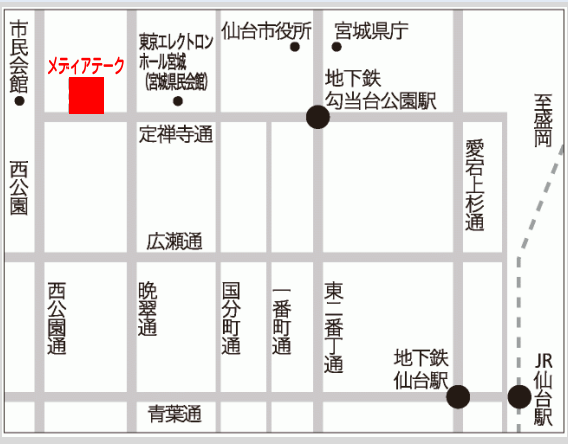
作品名　フォース鉄道橋
学校名　山形県立長井工業高等学校

会場：せんだいメディアテーク

（仙台市青葉区春日町2-1）

●地下鉄
勾当台公園駅下車「公園2」出口から徒歩6分

●仙台市営バス
仙台駅前29（荘内銀行前）番乗り場から「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行きで約10分　メディアテーク前下車



■お問合せ先■

高校生「橋梁模型」作品発表会事務局
宮城県多賀城市桜木三丁目６－１
東北地方整備局
東北技術事務所内
Tel. 022-365-8047
fax. 022-365-5938
mail:
tougi@thr.mlit.go.jp